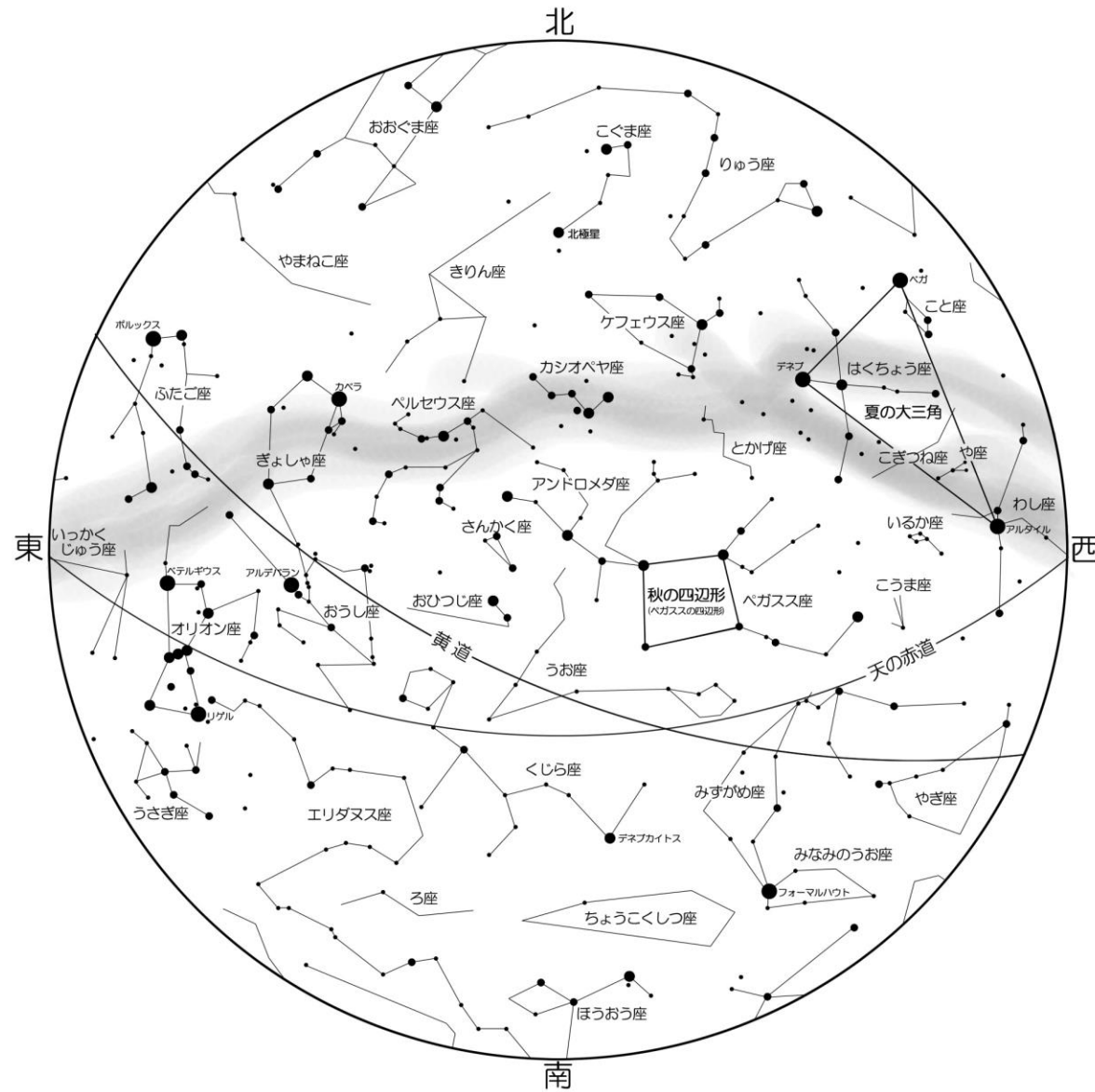


平成26年 12月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～



★12月の星空案内

今月の星空では、20時頃、頭上ではまだ秋の星座が見えています。星空にぽっかり開いた窓のような、握りこぶしよりひと回り大きい四角形の星の並びが「ペガスス座」です。この四角形の星の並びを“秋（ペガスス）の四辺形”といいます。明るい星が少ない秋の星座めぐりのよい案内役になってくれます。“秋の四辺形”の西（右）の辺を南へのぼしていくと、秋の星空で唯一の1等星「みなみのうお座」のフォーマルハウト（秋の一つ星）があります。

そして、夜も更けると、東の空に冬の星座たちが姿を見せはじめます。赤く輝いているのが「おうし座」の1等星アルデバランです。その近くには“すばる”という名前で有名な散開星団“プレアデス星団（M45）”を見ることができます。また、「おうし座」の東側にある“等間隔に並んだ3つの星（三つ星）”が目印の星座は「オリオン座」です。その「三つ星」の左上で赤く輝く星が1等星のベテルギウス、右下青白く輝く星が1等星のリゲルです。

寒くなってきましたが、あたたかい格好で星座さがしを楽しんでください。

< 現在見える惑星 >

- 水星(-0.9等前後): てんびん→いて座付近 見かけ上太陽に近い観測に適さない。
- 金星(-3.9等前後): へびつかい→いて座付近 日没後、西南西の低空で明るく輝く。
- 火星(1.1等前後): いて→やぎ座付近 日没後、南西の空で赤っぽく輝く。
- 木星(-2.4等前後): しし座付近 夜明け前、南の空で明るく輝く。
- 土星(0.5等前後): てんびん座付近 夜明け前、東南東の低空で輝く。

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
6	土	○満月 (21:27)	20	土	夜明け前、東の低空で細い月と土星が並ぶ
8	月	水星が外合(がいごう) (23:34)	22	月	●新月 (10:36)、冬至 (8:03)
14	日	ふたご座流星群が極大 (21時頃)	23	祝	こぐま座流星群が極大 (05時頃)
		●下弦 (21:51)	29	月	●上弦 (03:31)